

いしかりのかいせいほにゅうるい
石狩の海生哺乳類

■海生哺乳類の種類

海（海岸も含む）に生息する哺乳類には、鯨類（クジラ・イルカ）、^{げい}鯨類（クジラ・イルカ）、^{ききやく}鯨脚類（アシカ、アザラシ、セイウチ）、^{かいぎゅう}海牛類（マナティ、ジュゴン）、食肉類の一部（ラッコ、ホッキョクグマ）がいます。

これらのうち、石狩（石狩湾沿岸）で見られるのは、鯨類と鯨脚類です。

■石狩の鯨類

石狩での鯨類の記録の多くは漂着（死亡座礁）事例です。その他には、定置網等への迷入・混獲の事例が時折、報告されています。

石狩の浜（小樽市銭函～石狩市厚田区知津狩）では、1年間に数頭の鯨類の漂着が確認されています。もっとも多いのが体長2m弱のネズミイルカ、次いでイシイルカです。そのほか、これまでにオウギハクジラ、カマイルカ、^{しらつかり}ゴンドウクジラの仲間（種不明）の漂着が確認されています。また、厚田～^{はまます}浜益の海岸では、上記の鯨類のほか、ミンククジラやツチクジラの漂着例もあります。

■石狩の鯨脚類

石狩では鯨脚類は、厚田～浜益の岩石海岸を中心に、冬季にトドやゴマフアザラシの生息が確認されています。ゴマフアザラシは石狩川河口域でも見られます。この他、石狩浜や石狩湾新港でオットセイが目撃された事例があります。オットセイは日本周辺海域では沖合を回遊しているため、生体が海岸で見られるのは例外的です。

鯨脚類で生体が確認されているのは上記3種だけです。これらは漂着（死亡座礁）もしばしば見られます。

（志賀健司）

分類	科	種	事例・漂着数等
鯨類	ナガスクジラ科	ミンククジラ	2008年、2009年
	アカボウクジラ科	ツチクジラ	2010年
		オウギハクジラ	1996年、2010年、2011年
	マイルカ科	ゴンドウクジラ類(種不明)	2007年
		カマイルカ	2005年
	ネズミイルカ科	イシイルカ	2008年:10個体、2009年:0個体、2010年:0個体
ネズミイルカ		2008年:4個体、2009:13、2010:3、2011:1、2012:6	
鯨脚類	アシカ科	トド	厚田～浜益の沿岸部に回遊、漂着例多数
		オットセイ	石狩浜で目撃例あり、漂着例あり
	アザラシ科	ゴマフアザラシ	厚田～浜益の沿岸部に回遊、漂着例多数

表：石狩の海生哺乳類(近年の記録)

(1) ジェファーソン, T. A.・レザウッド, J. S.・ウェバー, M. A. (1999) 海の哺乳類FAO種同定ガイド. NTT出版.
 (2) ストランディングネットワーク北海道 (2009) 2008年ストランディングネットワーク北海道活動報告書. ストランディングネットワーク北海道.
 (3) ストランディングネットワーク北海道 (2010) 2009年ストランディングネットワーク北海道活動報告書. ストランディングネットワーク北海道.
 (4) ストランディングネットワーク北海道 (2011) 2010年ストランディングネットワーク北海道活動報告書. ストランディングネットワーク北海道.